

# てんこ新聞

15.3.No.213  
発行市岡日報  
0883-88-5292

# 春だ

ユマリイサゲ

旧正月の二月十九日には、祖谷の皆さんが言。う様に雪が降り、寒い一日だった。この日がすこほど、一気に春めり、をました。

鹿よりえにフキノツウを見つけ、テニララとフキニンにくつ皆さんなり春を味めました。

福寿草も限定版では早く見られるようになります。陽当たりの良い所では、トケイガ、ハコベ、オオイヌノフグリが風にゆきこり、地面に張りついで様にヤスルリソウが美しい。

私の待ち遠しい山野草の一つのエキワリイチゲをひつきりと咲きはじめました。

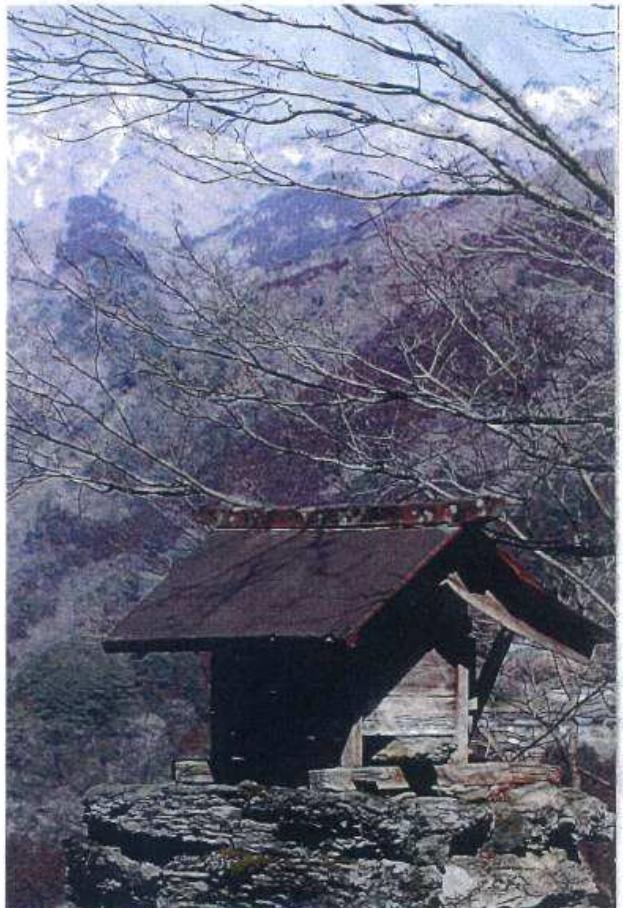
# まちに待つ

毎年咲り立つ  
場所に行くと、待つことなく春ました。  
アカサギとニワトコが早く  
くにれと感ひる時。

アカサギとニワトコが早く  
くも新芽が葉の型が  
見えています。クロモレも花がふくらんび来たの、  
あと、数日で黄色の花を見えそうです。  
ウグイスも初鳴きしました。

気温があがる時頃になると陶とうときます。  
とぼつ響きます。本当に待ちにまつた春です。  
身体を動かしても軽く感ひる様になりました。  
一枚着衣が少ないという事はよいじょう。

皆熱を前に出も顔を出しそひめぐのが、クモの糸が朝陽に見えどくる。ソサエガラが巢をさがじく、箱のまわりをえ氣よく飛びまわつたりと、生きるる物すべてが動きはじめるのを感じる。向の山の落葉樹の固まりが、うすい緑ぼうしの様にふくらんびります。



中上山の山野草



コタツに入っこ、コーヒー飲んで読書。そして寝る。  
そんな晴暖の日常からめでめないと、もう今年も二ヶ月が終つてしまふ。  
明るくはつて来たと感じたら、三月です。  
鳥や虫たちに負けず、春を感じ動きはじめないと、いけない!  
冬の雪と水を飲んでみながらいやう美味しいよつや、起きるか!

# 情眠

から

